

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2011 年 11 月 14 日

派遣者氏名（専門分野）	田中 晶子 （ドイツ現代史）
-------------	----------------

派遣期間	2011 年 7 月 28 日 ～ 2011 年 9 月 27 日
------	-----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
ドイツ連邦共和国	ベルリン	パピア・ティガー (Papier Tiger)

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

**【文書館の概要】**

1960 年代末以降～現在までのドイツの社会運動に関する史料を網羅的に所蔵している、個人運営の文書館です。特に 1980 年代の西ベルリンを中心とする西ドイツの様々な社会運動に関するポスター類のコレクションは非常に充実しています。

開館時間は、基本的に月・木の午後 14:30～18:00 のみです。古本屋さんも兼ねていて、軒先に本が並べられている、ちょっと変わった文書館です。

パピア・ティガーHP：<http://www.archivtiger.de/index.html>

**【交通アクセス】**

クロイツベルク地区にあります。地下鉄 1 番のシュレージッセス・トーア駅下車。徒歩 7 分ほどで到着。

**【必要な手続き】**

事前にメールか電話で訪問したい旨を伝え、訪問日に開館しているかどうか確認する必要があります。HP には文書館のメール・アドレスと電話番号が記載されていますが、電話で直接連絡をとった方が確実です。私は、ベルリン自由大学の APO 文書館で紹介していただき、滞在期間中に急遽訪問することになりましたが、利用に際して、特に書類などを提出する必要はありませんでした。

**【利用方法】**

HP で主な所蔵史料について検索ができますので、事前に調べておきましょう。

記載されていない史料やポスターも多く所蔵されていますので、管理人に直接相談してみましよう。小さな文書館なので、日によっては混雑することもあります。管理人も他の利用者もたいへん親切です。

ラップトップ型コンピュータも持ち込み可。コピーは 1 枚 10 セントで利用できます。

**【注意すべき点】**

夏期や冬期には、管理人の休暇期間は、1 ヶ月ほど長期で閉館することがあります。HP に休暇期間について情報が記載されていますので、自分の滞在期間と重ならないかどうか、確認しておきましょう。

